

ニューヨークスポーツビジネス視察ツアー2016

～参加学生の声～

□スタジアム視察を終えて

・今回のツアーでスタジアムの隅々まで観察させてもらい、コンコースやスイートルームなどを自分の目で見て、思っていた以上に感動し、興味を持つことができました。お金のかけ方や、来場者を楽しませるための仕組みの多さに圧倒されました。(学生A)

・初めて観客席やコートを見て、大きさと豪華さですごいとか言いようがなかったです。ビジネスの講義を受けて、観戦以外の楽しみを作る工夫がされてあることを確認できたり、スタジアムの中なのにしっかりとしたレストランやドレスコードじゃないと入れないスイートルームなど、普通じゃ見られないところをたくさん見ることができて本当に貴重な体験をすることができて、本当に良かったです。(学生B)



【ヤンキースタジアム視察】

□スポーツ観戦を終えて

・スポーツ観戦では試合前にある演出のスケールの大きさに驚きました。コートを使ったプロジェクションマッピングや、ハーフタイムの様々なショーなど観客を楽しませる工夫を数多く目にするのが出来ました。試合自体も日本では見られないプレーや選手であったりを見ることが出来て満足しています。(学生C)



【NBA 観戦】

・試合の観戦中、私の周りには子供連れの家族が多く、広い観客席にはたくさんの方がいて、日本で休日に家族でアウトレットや遊園地などレジャー施設に遊びに出掛ける感覚で、海外ではスタジアムに行くのか、と実感しました。観客を楽しませるための仕組み、パフォーマンスは選手やチームのことをあまり知らない私でもワクワクするくらい楽しむことができました。試合中、相手のチームにチャンスが来たときや、フリースローのときに観客がブーイングの声をあげたりなど、日本ではおそらく見ない光景を目にして新鮮でした。それがアメリカでは当たり前なのかもしれませんが、日本との違いを発見し、驚きました。(学生D)

□このツアーの感想、この経験を今後どのように生かしていくのか

・今回のツアーでは、自分のやりたいことをやって輝いているたくさんの人たちに出会いました。私もその人たちのような自分が輝ける人生にできるように今後は自分から発信したり、思っているだけでなくそれを言葉で伝えていけるようになりたいと思います。(学生E)

・ツアー内容の一つ一つに刺激がありました。本当に人生が変わったようでした。というより自分で変えていきたいと思えました。今まで特に目立たずに平凡に生きていけたらいいと思っていましたが、そんな考えが今の自分には考えられなくなりました。世界も人の輪も広がりました。(学生F)

・進路に関して迷いがある中での参加で、正直不安な気持ちもあったが実際に行き、自己主張の国でたくさんの刺激を受け、私もじぶんがしたいことをとことんやっっていこうと思った。(学生G)

・私は今まで何かやる前から、できない無理とネガティブな考え方をしていましたが、このツアーで、日本語が全く通じない状況に置かれ、どうしようと悩む前に身振り手振り、知っている単語で、必死に会話しようとしていました。そうすると相手も、真剣に耳を傾けてくれたりして、一番不安に感じていた外国人との会話は、すんなり上手いきました。この事から、今まで悩んだ結果諦めていた物事を、もったいないと思うようになりました。全ての事が上手くいくわけではないですが、何事も一度はチャレンジしていこうと思いました。(学生H)

・このニューヨークツアーで一番感じたことは、もっと自分の好きなことを思いっきりしようということ。アメリカの人たちは周りなんか気にせず自己主張が強かったし、やかさんやケンジさんの話を聞いて自分は人目を気にしたり、自己主張があまりできなくて好きなことも我慢している部分があったので、人生一度きりだからもっと楽しく好きなことを極めていきたいと感じた。これから就活が始まり、自分の就きたい職業に絶対に入るためには、絶対にそこに就職するという気持ちや行動が大切になってくるし、面接でも自己主張をしていこうと思う。また、部活が今年引退なので、好きなバスケットボールを最後まで悔いなく全力で楽しもうと思った。(学生I)



ニューヨーク大学における
「スポーツマーケティングの特別講義」



Nike+ Run Club